



じぶん未来BOOK

生活習慣の確立と職業観を育成する 朝読書の教材として活用

— 岐阜・県立 不破高校 —



教諭 青木健太郎先生 進路指導主事 小川義隆先生 教頭 若松卓郎先生 校長 浅井正美先生

School Data

普通科 / 1950年創立
生徒数 / 299人(男子159人・女子140人)
進路状況(2010年度) / 大学・短大進学33.0%、
専各進学22.0%、就職40.0%、その他5.0%
岐阜県不破郡垂井町宮代1919-1
TEL 0584-22-1002
URL <http://school.gifu-net.ed.jp/fuwa-hs/>

■ 朝読書の様子



「情報を与えるのではなく、考えさせることが大事なので、文章で自分の思いを表現できるよう、進路指導では朝読書に加え、作文指導にも力を入れています」と小川先生。

体験を「読む」朝学習。数多くの職業を知る機会に

不破高校では2010年度より1学年2学期の朝学習の教材として『じぶん未来BOOK』を活用している。

「朝学習は週3回。SHR前の約10分、プリント学習や小テストを行う日もありませんが、進路学習と決めた日は、『じぶん未来BOOK』を読む、朝読書の時間としました」と進路指導主事小川義隆先生。同校のキャリア教育の目標は「自立」。社会へ出た時に自分で立ち、生きていける子どもを育てたいと考えている。

「そのためには基礎学力、基本的な生活習慣を身につけることも含めた、職業観育成が重要だと考え、学年会と連携して指導内容も決めていきます」。今回の朝学習での取り組みも年度初め、学年主任の青木

■ 朝学習のスケジュール

毎週月曜日	毎週水曜日	毎週木曜日
国語 漢字学習安全弁別 常用漢字オーストラリア (漢文参照)	数学 新高校数学1 演習ノート	英語 レベル3000 (教科は授業の英語 テキストは別途用います。)
日 前週	日 前週	日 前週
8月 30 各日、漢字テスト前週のプリント学習	1 p4~p8	2 pp.78~85
9月 6 進路学習	8 p10~p15	9 pp.86~93
13 各日、漢字テスト前週のプリント学習	15 p16~p17	16 進路学習
20 敬老の日	22 進路学習	23 秋分の日
27 進路学習	29 p18~p19	30 pp.94~101
10月 4 各日、漢字テスト前週のプリント学習	6 p20~p21	7 進路学習
11 休日の日	12日(水)~15日(金) 中間考査	
18 各日、漢字テスト前週のプリント学習	20 進路学習	21 体育大会
25 進路学習	27 p22~p25	28 pp.102~109
1 各日、漢字テスト前週のプリント学習	3 文化の日	4 進路学習
8 休日	10 進路学習	11 pp.110~117
15 進路学習	17 p26~p29	18 pp.118~127
22 各日、漢字テスト前週のプリント学習	24 p30~p33	25 進路学習
29 各日、漢字テスト前週のプリント学習		
1日(水)~6日(月)期末考査		

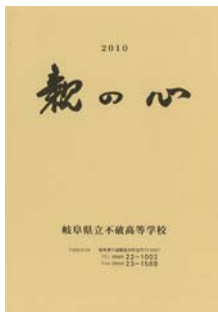
1学年2学期の朝学習の予定表。「じぶん未来BOOK」を読む「進路学習」の時間は週1回設けられている。

1学年は4クラスだが、読み方はさまざま。生徒が自分の興味をもつ職種を静か

朝読書の反応は上々 効果は2学年に生かす

健太郎先生と「遅刻防止、高校生としての学習習慣の確立、幅広い職業への理解、進路意欲向上のため、何をしたらいいのか」を話し合ったうえで始めたことだった。「生徒がおもしろがりながら自然に進路に関心を寄せ、将来の職業を考えるきっかけを作りたかった。『じぶん未来BOOK』は1職種1ストーリーで、文章も短く読みやすい。その職に就いている人の経験から出てきた、生の言葉で書かれているので、どんなやりがいがあるか、苦労のある仕事なのかがとてもよく伝わってくる。そこに魅力を感じました。また、朝学習を楽しみに感じ、これがあるから遅刻をせずに学校へ行く」という意識改革につながればという思いもありました(小川先生)

■ 年1回発行の「親の心」



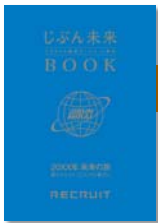
同校進路指導部では、1989年より保護者の経験や人生観をまとめた「親の心」を年1回独自に発行。「これも進路選択における生徒自身の大きな指針になっています」と校長の浅井正美先生。

ま。生徒が自分の興味をもつ職種を静か

に読むクラスもあったが、毎回1人の生徒が自分の好きな職種の人々の文章を、みんなの前で読むようにしたクラスもあった。その場合、どの子がどんな職業に興味をもっているかを知ることができ、互いに刺激を与え合うこともできたという。

実際、今年3月、生徒に行ったアンケートには、「『じぶん未来BOOK』を読んだことに關して「自分の知らない仕事についてたくさん知ることができたのがよかった」「たくさんさんの職業があるので、焦らずに決めたと思った」など前向きな感想が多かったそう。

「『じぶん未来BOOK』には、50人のさまざまな職業人が掲載されています。それらを朝読書の本として、手軽な感じで目にしたことで、抵抗感なく、1学年の段階から自分の特性や適性を考えることができたのがよかった。アンケート結果も踏まえて、2学年の朝学習や総合学習をどう展開していくか、考えているところです(青木先生)



じぶん未来BOOK

生徒の琴線に触れる教材をと考え、 1学年5月の職業研究ワークを導入

— 大阪・府立 佐野高校 —



指導教諭
奥野周司先生

佐野高校の総合学習プログラム「Career Studies」事項

取組概要	
1	教師の想い
2	図書室の活用方法
3	図書室でのグループワーク
4	じぶん未来BOOK・職業研究
5	文系・理系、学部学科研究
6	進路と科目選択の関連付け
7	先輩から学ぶ
8	今までの自分を振り返る
9	夏季課題の具体的な説明
10	図書室で夏季課題実践開始
11	夏季課題体験・聞き取り等を含む課題研究
12	夏季課題グループ内発表
13	宿題への振り返り 発表方法
14	観劇による面接への意識付けと職業意識の重要性
15	科目選択確認と模擬時間割
16	発表方法の最終確認 予行
17	なりきり面接 課題発表
18	なりきり面接 課題発表
19	なりきり面接 課題発表
20	職業インタビュー発表
21	自由課題発表
22	発表の振り返りと組ベスト選出
23	大学入試等の基礎知識
24	センター試験模試体験他
25	公務員模試体験他情報提供
26	体験模擬授業への心構え
27	学部学科別体験模擬授業
28	振り返り

佐野高校独自の総合的な学習のプログラム「Career Studies (CS)」年間のスケジュール。『じぶん未来BOOK』は、5月のGW明けの授業で活用されている。

School Data

普通科、国際教養科／1903年創立
 生徒数／1037人(男子476人・女子561人)
 進路状況(2010年度)／大学・短大進学71.7%、
 専各進学18.0%、就職2.3%、その他8.0%
 大阪府泉佐野市市場東2-398
 TEL 072-462-3825
 URL <http://www.osaka-c.ed.jp/sano/>

興味をもった職業を調べ、 秋に「なりきり面接」実施

ほとんどの生徒が進学を希望する佐野高校では「具体的な科目選択へつなげる指導ではなく、自らを見つめ、根本的な学習意欲、キャリア意識の喚起につながる進路指導を目指したい」と考え、独自の総合学習プログラム「Career Studies (CS)」を表を1学年で展開している。指導教諭の奥野周司先生は「CSではその趣旨を生かすため、生徒が自ら学べる教材を精選し、グループ学習や発表など授業形態にもさまざまな手法を積極的に取り入れています」と語る。

そのCSの取り組みの中で、5月の段階で実施する「職業研究」で活用しているのが『じぶん未来BOOK』。1時間かけて生徒たちに読んでもらい、ワークシートを使って感想などを書かせている。

「そこで、生徒たちはさまざまな職業を広く知ることができる。同時に、自分ほとんどな職業に関心があるのかも何となくわかる。」

か。その後、夏休みの宿題として職業研究、仕事人インタビューのレポート提出があるのですが、5月に1時間かけて『じぶん未来BOOK』を通り読んでいるので、どの職業を調べようか、誰に話を聞こうか生徒たちは考えやすくなっています」

さらに同校では夏のレポートを踏まえ、秋に「なりきり面接」という授業を実施。これは、自身が調べたりインタビューした仕事人になりきって、教師からの質問に答えるというもの。「しかも、その様子をほかの生徒たちが見ているのでいい意味での緊張感があります。発表する生徒はかなり真剣にその職業を調べてくるし、聞く側の生徒にとっては、新たな職業について知る機会にもなっています」

人を通して仕事を 知ることができるのが魅力

奥野先生は、職業人インタビューや家族の職業を聞く機会も大事だが、「直接聞いた話だけでは狭い範囲の情報になってしまう」

「その点、『じぶん未来BOOK』は紋切り型の職業ガイドブックではなく、仕事とは何かとか、職業をもつ人間の生き方が生々しく、かつ、わかりやすく描かれているので、生徒の琴線に触れやすい。読みこんでいく中で想像力をかき立てられるのがいいですね」

CSはこれまで1学年の担任団が中心となって実施してきたが、10年度より進路指導の責任のもと、基礎的なノウハウや教材を学年に提供するという体制にした。実際にCSの授業を進める担任向けに「マニュアルも用意したという。それによって過度な学年への負担を軽減することにも、継続性と発展性をもたせたカリキュラムになった」と奥野先生は言う。

「どんなに情報を与えても、生徒の意識に訴えるものがなければ、意味がないと思っています。それだけに、生きた情報を幅広く伝えられる『じぶん未来BOOK』は、CSを進めていくうえで、非常に重要な役割を果たしています」